

スマイル永生作品展示

医療法人社団永生会 介護サービス スマイル永生
 ◎五十嵐大輔、平野彩、高橋淳子、邨松美都樹、松井佳奈美
 清水竜太、鈴木リサ、松本和希、小川清美

【はじめに・目的】

スマイル永生の作品展示は、ある利用者様より自分の作品を展示し、個展を開きたいというお話を頂いたことから始まった。そして作品展示を行った結果、その利用者様は大変喜ばれ、次なる活動意欲が向上し自分で個展を行うことができた。そこでスタッフは、「作品展に作品を展示する」ことで、満足度の向上を図ることや作品を見学した人から褒められることで、日常生活における活動意欲を向上させることを目的に、この取り組みを他の利用者様にも広げることを企画した。

【実施状況】

作品は、利用者様のリハビリテーションの一環として希望に合わせて、陶芸、ネット手芸、絵手紙などを作成している。完成した作品は、「スマイル美術展」、「永生フェスティバル」、「南多摩医療と介護地域をつなぐ会」で展示を行っている。

スマイル美術展は、年に5回永生クリニック2階廊下で展示を行い、作品を見た外来リハビリの患者様、家族様、スマイル永生の利用者様、職員等から感想を頂き、結果は各クラスで表彰を行っている。2010年から開始して、今年で5年目を迎えた。

「永生フェスティバル」「南多摩医療と介護地域をつなぐ会」は、年に1回永生クリニック1階と東急スクエアでそれぞれ作品展示を行っている。これらの作品展は、利用者様にとって会場に作品を見に行くという外出機会となり、さらには見学者と会話をすることで地域とのつながりの場となっている。

【実施結果】

スマイル永生での作品展をきっかけに、道具を買いに行ったり、自ら個展に出展するなど日常生活における活動意欲が向上した利用者様が見受けられた。

【今後の展望】

今後は、地域での展示会情報を集め、作品展示の場を広げたいと考える。



スマイル美術展展示風景 永生フェスティバル展示風景 つなぐ会展示風景